

SEKONIC

ポータブルハイブリッドレコーダ SP-100・オプション メモ리카ードユニット 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この説明書は、本製品を正しくご使用いただくための必要事項を記載しておりますので、ご使用前には必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

著作権について

- Microsoft®、Windows®、Microsoft® Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Compact Flash™（コンパクトフラッシュ）は、米国SanDisk社の登録商標であり、CFA（Compact Flash™ Association）へライセンスされています。
- その他、記載されている会社名・製品名は各社の登録商標または商標です。
- マニュアルの一部または全部を株式会社セコニックの書面による許可無く複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。

免責事項について

- 電源異常、故障などの原因に関わらず、データの保証はいたしかねます。
- セコニックは、付属ソフトウェアのご利用によりご利用者に生じた損害については、法律上の根拠を問わず、いかなる責任も負わないものとします。
- セコニックは、付属ソフトウェアの誤りの修正その他いかなる保守についても、義務を負うものではありません。

その他

- マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

※ポータブルハイブリッドレコーダ「SP-100」の取扱説明書もあわせてご確認ください。

※Windowsの基本操作をご理解いただいていることを前提として説明しています。Windowsの基本的操作に関しては、Windowsのマニュアルをご確認ください。

安全上のご注意

●絵表示について

この安全上の注意は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全上の注意は必ず守ってください。

本書ではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、傷害を負う危険性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。








取扱を誤った場合、機器自体を損傷する恐れがある場合の注意事項が記されています。



操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。

●絵表示の例

	誤った取扱によって、発煙または発火の可能性が想定されることを示すマークです。
	誤った取扱によって、感電の可能性が想定されることを示すマークです。
	禁止の行為を告げるマークです。
	分解、改造行為の禁止を告げるマークです。
	安全のため、電源コードをコンセントから必ず抜くように指示するマークです。

目次

第1章 本製品の特徴	6
1-1. 特徴	6
1-2. 機器構成	7
第2章 各部の名称と機能	8
2-1. メモリ基板	8
2-2. メモリカード	8
第3章 メモリ基板の取り付け	9
第4章 記録(測定モード)	11
4-1. 電源の投入	11
4-2. メモリカードの挿入	11
4-3. メモリカードへの記録の開始	12
4-4. メモリカードへの記録の停止	12
4-5. メモリカードの取り外し	13
4-6. 電源OFF	13
第5章 各種設定と機能	14
第6章 メモリ機能の設定	16
6-1. インターバル設定 (F61)	17
6-2. ステータス表示 (F62)	19
6-3. ファイル削除 (F63)	20
6-4. フォーマット (F64)	22
第7章 パソコンでの使用	23
7-1. 使用方法	23
第8章 データファイル	25
8-1. ファイル名	25
8-2. 内容	25
第9章 トラブルシューティング	27
9-1. トラブルシューティング	27
9-2. 警告メッセージ	29
保証書	30

ご確認ください

本製品は十分な社内検査を経て出荷されていますが、ご使用前に次の点について確認してください。

- ① 破損がないかどうか、外観を確認してください。
- ② 付属品がすべて揃っているか、確認してください。
付属品は下表のとおりです

番号	品名	数量	備考
1	メモリ基板	1	
2	押さえ板	1	
3	樹脂ネジ	2	押さえ板取付用
4	メモリカード	1	
5	取扱説明書	1	

万一、破損している場合や付属品が不足している場合には、当社または、お買い上の販売店にお問い合わせください。

第 1 章 本製品の特徴

1-1. 特徴

本製品をポータブルハイブリッドレコーダ「SP-100」に取付ける事により、メモ리카ードに記録を行うことができます。

1. メモ리카ードに記録したデータファイルはPCカードスロットを持つパソコンで読み出すことができます。(市販のコンパクトフラッシュアダプタが必要です。)
2. 記録されるデータは「CSV形式」で保存されますので、Microsoft Excel などのアプリケーションで直接読み込むことができます。
3. 長期間のデータ記録が行えます。

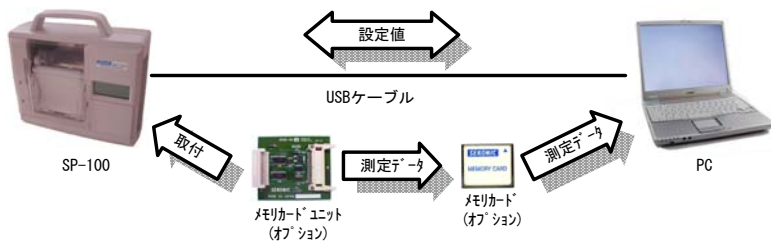
参 考

【 SP-100で使用する CSV 形式とは 】

「Comma Separated Value format」の略称で、項目ごとにカンマ(「,」)で区切られたテキストデータによるファイル形式のことを指します。CSV形式ファイルは一般的なワープロソフト・表計算ソフトで編集ができますので、様々な形で流用する事ができます。

SP-100で使用する CSV 形式では、項目の内容が文字列データの場合でもダブルクォーテーション(「"」)で囲みません。また項目が空白の場合には何も書かずにカンマ(「,」)を続けます。

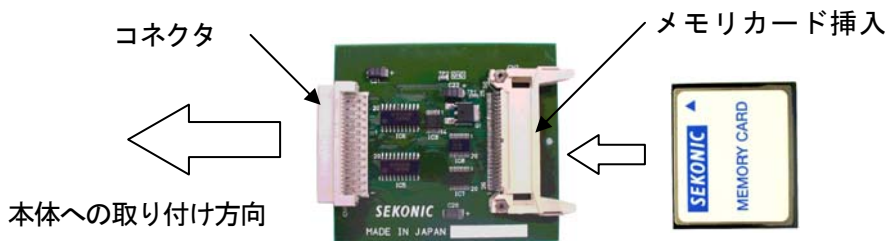
1-2. 機器構成



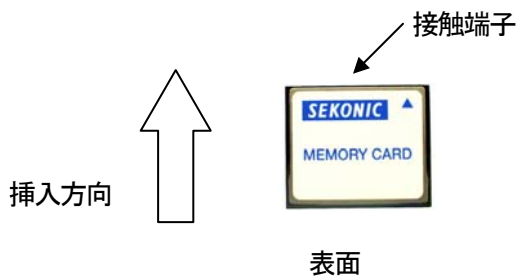
※USB ケーブルは本体付属品をご使用ください。

第2章 各部の名称と機能

2-1. メモリ基板



2-2. メモリカード



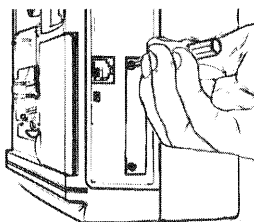
第3章 メモリ基板の取り付け

メモリ基板を取付けます。SP-100の電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ・感電防止のため、SP-100の電源が必ずOFFになっており、コンセントから電源コードが抜けているのを確認してください。

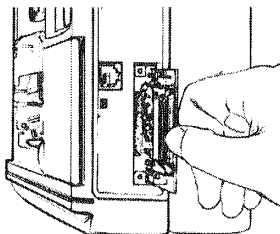
- ① サイドパネルのフタを止めているネジ2本をはずします。



注意

- ・SP-100内部にネジや物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因になります。

- ② フタをはずしますとSP-100内部に取り付けレールが見えますので、レールに沿うようにメモリ基板をゆっくり奥まで挿入します。

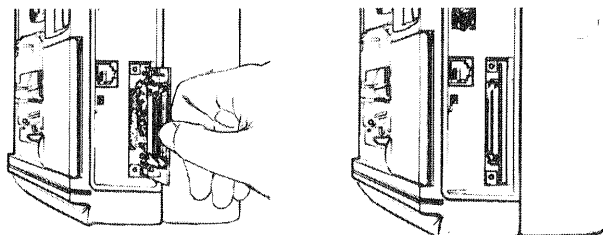


注意

- ・静電気による本製品の破損を防ぐため、あらかじめ金属製のもの（ドアノブ等）に触れて、静電気を放電してください。

- ・メモリ基板には挿入方向があります。向きを間違えないように注意してください。

③付属の押さえ板を下図のように取り付けます。



注 意

- ・押さえ板には取り付け方向があります。向きを間違えないように注意してください。
- ・ネジは樹脂ネジを使用しておりますので、ご注意ください。

第4章 記録(測定モード)

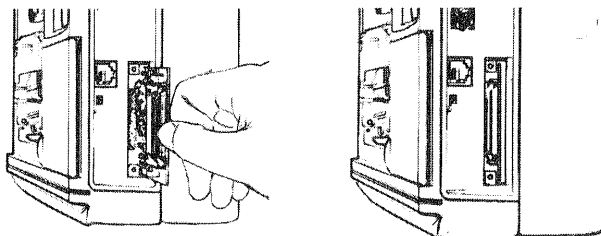
メモリカードへの記録を行います。操作方法はSP-100本体に付属の「取扱説明書」をご覧ください。又、本体添付の設定アプリケーションで操作する場合は、本体添付CD-ROM内にある「ポータブルハイブリットレコーダ SP-100 設定ツール取扱説明書」をご覧ください。

4-1. 電源の投入

【RECORD】スイッチのOFFを確認してから、SP-100の電源を入れてください。メモリカードは挿入されていても問題はありません。

4-2. メモリカードの挿入

- ① メモリカードをサイドパネルの「メモリカード挿入口」にゆっくり奥まで押し込みます。



参 考

- ・メモリカード挿入後、メモリカードのチェック処理が数秒間行われます。すぐにデータファイルの削除やフォーマットを行いますとエラーメッセージが表示されます。

注 意

- ・メモリカードは必ずセコニック純正品をご使用ください。
- ・初めて使用するメモリカードは必ずSP-100でフォーマットを行ってください。フォーマット完了後、一度SP-100からメモリカードを抜いてから、再び挿入しご使用ください。フォーマットは「第6章メモリ機能の設定」を参照してください。

- ・メモリカードは矢印が書かれている面が手前にくるように、矢印方向に挿入します。「第2章 各部の名称と機能」の図を参照ください。

4-3. メモリカードへの記録の開始

- ① SP-100の電源が投入されていることを確認します。
- ② メモリカード記録インターバルがOFF以外になっていることを確認します。
- ③ 【RECORD】スイッチをONにするとメモリカードへの記録が開始されます。

注 意

- ・メモリカードへの記録中やフォーマット、データファイルの削除中にメモリカードを抜いたり電源をOFFにしないでください。メモリカードまたはメモリカードのデータが破損する場合があります。
- ・工場出荷時は、メモリカード記録インターバルはOFFになっています。メモリカードへ記録を行うには、「第6章メモリ機能の設定」を参照し、メモリカード記録インターバルを設定してください。
- ・メモリカードの空き容量がなくなると、それ以上のデータは記録されません。

4-4. メモリカードへの記録の停止

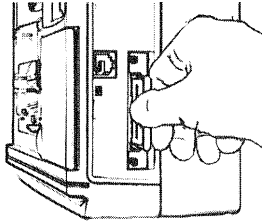
- ① 【RECORD】スイッチをOFFにします。

参 考

- ・チャート紙への記録を停止せずに行いたい場合は、「第6章メモリ機能の設定」を参照し、メモリカード記録インターバルをOFFに設定してください。

4-5. メモリカードの取り外し

- ① 【RECORD】スイッチをOFFにします。
または、メモリカード記録インターバルをOFFにします。
- ② サイドパネルの「メモリカード挿入口」からメモリカードを取り外します。



注 意

- ・静電気による本製品の破損を防ぐため、あらかじめ金属製のもの（ドアノブ等）に触れて、静電気を放電してください。
- ・メモリカードへの記録中に取り外しますとデータが破損する恐れがあります。

4-6. 電源OFF

SP-100の電源をOFFにする前に、メモリカード記録インターバルをOFFにしておくか【RECORD】スイッチをOFFにしてください。

注 意

- ・メモリカードへ記録中に電源をOFFにするとデータが破損する恐れがあります。必ずメモリカードへの記録を停止してから電源をOFFにしてください。

第5章 各種設定と機能

ここでは、SP-100の機能に対する各種設定を行います。

測定表示中に【FUNC. / MEAS】キーを押すことにより設定モードの表示に切り換わります。

設定モード中、【▲】 / 【▼】キーで設定項目を切り換えることができます。設定モード中【FUNC. / MEAS】キーを押すと、登録中以外は測定表示に戻ります。

設定の項目は下表の通りです。メモリ基板を取付けることにより

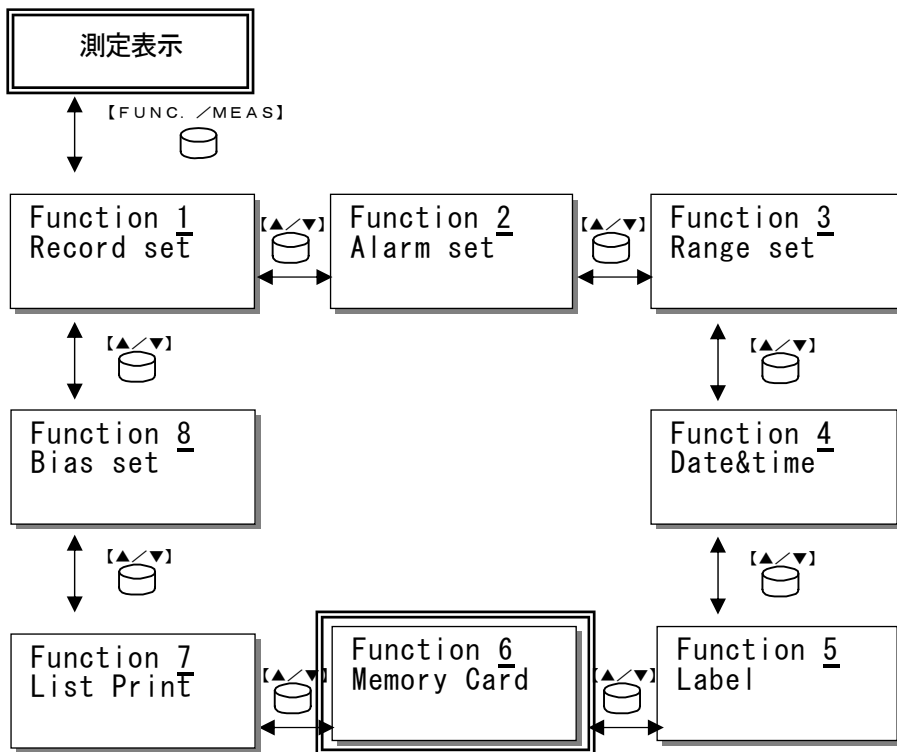
「Function 6」が追加されます。

「Function 6」以外の設定については「SP-100」に付属の

「取扱説明書」をご覧ください。

設定項目	設定内容
Function 1	記録パターン、チャートスピード、印字インターバルの設定
Function 2	アラームの設定
Function 3	入力種類の設定、記録レンジの設定、スケーリングの設定
Function 4	年月日時刻の設定
Function 5	センサのラベル名設定
Function 6	メモリカード機能の設定
Function 7	リストプリント(アラーム設定値をチャート紙に記録する機能)
Function 8	バイアス設定 (キャリブレーション機能)

設定項目の切り換えは下図となります。



第6章 メモリ機能の設定

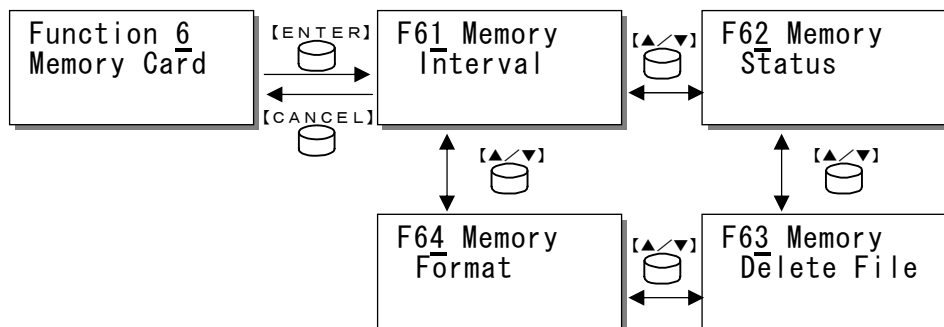
ここでは、メモリ機能に対する各種設定を行います。

選択画面中に【CANCEL】キーを押すと、登録中以外は測定表示に戻ります。

選択画面中、【▲】／【▼】キーで設定項目を切り換えることができます。

設定項目	表示	設定内容
F6 1	Interval	記録インターバルの設定を行います。
F6 2	Status	メモ리카ードの状態を表示します。
F6 3	Delete	ファイルを選択し、削除します。
F6 4	Format	メモ리카ードをSP-100で使用できるようにフォーマットします。

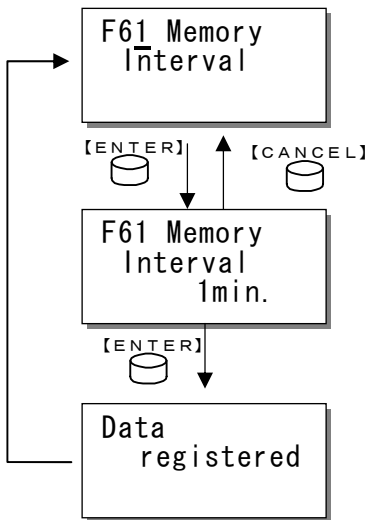
設定項目の切り換えは下図となります。



6-1. インターバル設定 (F61)

メモ리카ードへ記録を行う間隔を設定します。

設定の流れは下図となります。



- ① 『F61 Memory Interval』の表示中に【ENTER】キーを1回押します。
- ② 記録インターバルを【▲】 / 【▼】キーで設定値を入力します。
設定可能な値は、
 - ・ OFF
 - ・ 1分, 2分, 3分, 4分, 5分, 6分, 10分, 12分, 15分, 20分, 30分, 60分です。※SP-100本体バージョンによっては、インターバルの設定が異なる場合があります。
- ③ 【ENTER】キーを押すと登録されます。

注 意

- ・メモリカード記録インターバルを OFF 以外に設定しても、操作スイッチの【RECORD】を ON にしなければメモリカードへの記録は行われません。
- ・また、操作スイッチの【RECORD】を ON にしてもメモリカード記録インターバルが OFF の場合にはメモリカードへの記録は行われません。

参 考

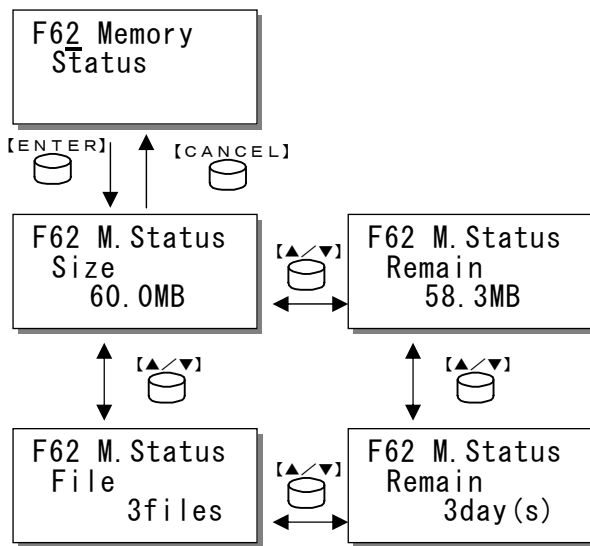
- ・工場出荷時は、メモリカード記録インターバルは OFF になっています。
- ・登録終了後に登録内容は保持されます。

6-2. ステータス表示 (F62)

挿入されているメモ리카ードの現在の状態を表示します。

ステータス表示の全体の流れは下図となります。

【FUNC./MEAS.】を押すと測定モードに戻ります。



- ① 『F62 Memory Status』の表示中に【ENTER】キーを1回押します。
- ② 【▲】 / 【▼】キーで表示内容が変わります。表示内容は、下記の通りです。

- ・メモリ容量 (バイト表示)
- ・メモリ残量 (バイト表示)
- ・メモリ残量 (日時表示)
- ・ファイル数

注 意

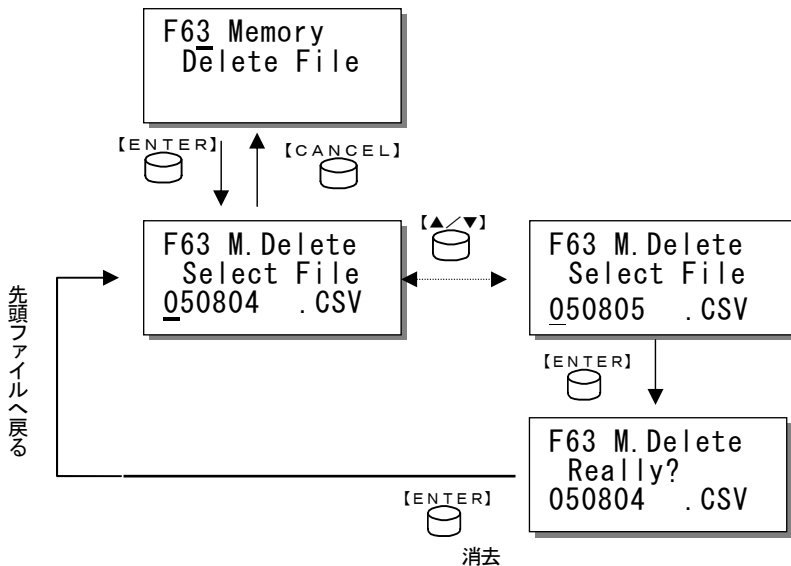
- ・「メモリ容量」はデータを記録するメモリの容量です。メモリの総容量ではありません。
- ・「ファイル数」は、最大512ファイル(512日分)となります。
F63 Remainにて、残り保存可能な日数が表示されます。
- ・「ファイル数」はフォルダやフォルダ内のファイル数は含まれません。
- ・ファイルがいっぱい(Full of Data)になった場合には、データは上書きされません。

6-3. ファイル削除 (F63)

挿入されているメモ리카ードのファイルを選択、削除します。

ファイル削除の全体の流れは下図となります。

削除中・エラー表示中以外で【FUNC./MEAS.】を押すと測定モードに戻ります。



- ① 『F63 Memory Delete File』の表示中に【ENTER】キーを1回押します。
- ② 【▲】 / 【▼】キーでファイルを選択できます。
- ③ 選択したファイルを【ENTER】で削除します。
削除後は先頭ファイルが表示され②に戻ります。
- ④ メモ리카ードが挿入されていない場合や、記録中のファイルを削除しようとした場合にはエラー表示されます。解除するには【ENTER】または【CANCEL】キーを押してください。

注意

ファイルを選択時に『Searching』と表示される場合がありますが、しばらくお待ちください。

注 意

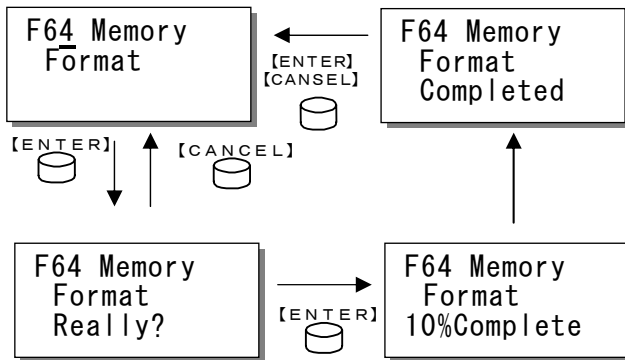
- ・削除中にメモリカードを抜いたり、SP-100の電源をOFFにしないでください。メモリカードまたはメモリカードのデータが破損する恐れがあります。
- ・記録中のファイルは削除できません。(エラー表示になります。)
- ・パソコンでファイルを作成した場合、ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- ・SP-100以外で作成したファイルをSP-100で削除しないでください。誤動作する恐れがあります。

6-4. フォーマット (F64)

挿入されているメモリカードをSP-100で使用できるようにフォーマットします。

フォーマットの全体の流れは下図となります。

実行確認のメッセージを表示中は、【FUNC./MEAS.】を押すと測定モードに戻ります。



- ① 『F64 Memory Format』の表示中に【ENTER】キーを押します。
- ② 確認メッセージが表示されますので、【ENTER】キーを押します。
やめる場合には【CANCEL】キーを押します。
- ③ フォーマット処理の進行状況がパーセンテージで表示されます。
- ④ フォーマットが終了すると完了のメッセージが表示されるので、
【ENTER】または【CANCEL】キーを押します。
- ⑤ メモリカードが挿入されていない場合や、メモリカードへ記録中の場合にはエラー表示されます。解除するには【ENTER】または【CANCEL】キーを押します。

注 意

- ・フォーマット中にメモリカードを抜いたり、SP-100の電源をOFFにしないでください。メモリカードが破損する場合があります。
- ・メモリカードへの記録中にフォーマットは行えません。(エラー表示になります。)
- ・SP-100以外でフォーマットしたメモリカードを使用しないでください。
誤動作の原因になります。
- ・パソコンでメモリカードをフォーマットしてしまった場合、必ずSP-100でフォーマットしてください。フォーマット完了後、一度SP-100からメモリカードを抜いてから、再び挿入しご使用ください。

第7章 パソコンでの使用

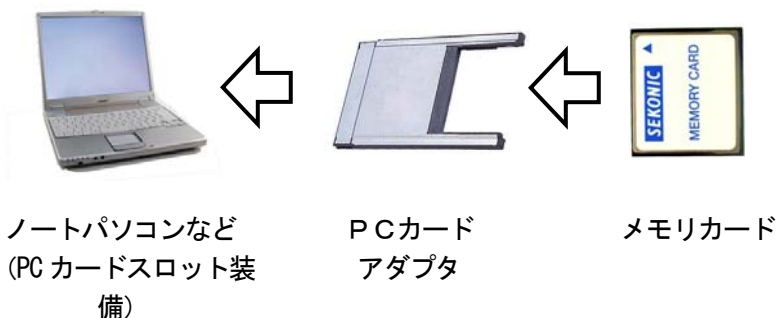
7-1. 使用方法

メモ리카ードをパソコンと接続するには以下の方法があります。

●PC カードスロットを装備したパソコン

メモ리카ードを市販の PC カードアダプターに挿入することにより PC Card Standard ATA (PCMCIA2.1/JEIDA4.2) に準拠した PC カード (TYPE II) としてご使用になれます。

ノートパソコンなど PC カードスロット (TYPE II 以上) を装備していれば挿入することによりご使用になれます。



注 意

- ・ご使用の際にはパソコン・オペレーティングシステム・PCカードアダプターの各取扱説明書も合わせてご覧ください。

●カードリーダーを使用する

デスクトップ型パソコンなど PC カードスロットを装備していないパソコンでは市販のコンパクトフラッシュカードリーダーをご使用ください。

このご使用方法の場合パソコン側にパラレルポートまたは USB ポートが必要となります。



パソコン
(パラレルまたは
USB ポート装備)

コンパクト
フラッシュ
カードリーダー

メモ리카ード

注 意

- ・ ご使用の際にはコンパクトフラッシュカードリーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ・ SP-100で使用するメモ리카ードはパソコンでフォーマットせずにSP-100でフォーマットしてください。
- ・ メモ리카ードのデータファイルはパソコンで削除せず、SP-100で削除してください。
- ・ データを編集する場合、データをパソコンのハードディスクなどにバックアップを行い、バックアップしたファイルを編集に使用してください。(メモ리카ードのデータを編集しないでください)
- ・ データファイルを、Microsoft® Excel など表計算アプリケーションで読み込む場合は、データをパソコンのハードディスクなどにバックアップを行い、バックアップしたファイルを使用してください。
- ・ パソコンで編集したファイルをSP-100で使用しないでください。

第8章 データファイル

データファイルは1日毎に作成されます。既に同じ名前のファイルがある場合には項目名（ヘッダー）のチェックが行われ、正しければデータが追加されます。項目名（ヘッダー）が異なる場合にはエラーが表示され、メモリカードへの記録は行われません。

注 意

- ・メモリカード1枚に作成できるファイル数の上限は512ファイルです。
- ・パソコンでメモリカードにフォルダやファイルを作成しないでください。作成した場合ファイル数の上限が減るばかりではなく、誤動作の原因になります。

8-1. ファイル名

ファイル名は西暦下2桁・月・日をつなげたもので、“YYMMDD.CSV”の形となります。全て半角文字（1バイト文字）です。

例：2005年8月1日の場合、ファイル名は“050801.CSV”となります。

8-2. 内容

先頭行には項目名（ヘッダー）が書かれています。項目名（ヘッダー）は以下の様に書かれています。

```
Date, Time,  
CH1, Unit, AlmH, AlmL, H, L, CH2, Unit, AlmH, AlmL, H, L,  
CH3, Unit, AlmH, AlmL, H, L, CH4, Unit, AlmH, AlmL, H, L,  
CH5, Unit, AlmH, AlmL, H, L, CH6, Unit, AlmH, AlmL, H, L,  
Comment
```

※見易いように複数行になっていますが、実際には1行に書かれています。バイアスが設定されたチャンネルは、単位に（CAL）が保存されます。

温度計測時のデータ例

2005/8/1	20:55:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190	C(CAL)	OFF	
2005/8/1	20:56:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190.2	C(CAL)	OFF	
2005/8/1	20:57:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190.2	C(CAL)	OFF
2005/8/1	20:58:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190.4	C(CAL)	OFF	
2005/8/1	20:59:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190.2	C(CAL)	OFF	
2005/8/1	21:00:00	-190.4 C	OFF	OFF	0	0	-190.2	C(CAL)	OFF	

項目名の意味とデータの内容は以下の様に書かれています。

	項目	フィールド名	データ
1	測定日付	Date	測定を行った日付です。 データは「YYYY/MM/DD」の形です。
2	測定時刻	Time	測定を行った時刻です。 データは「hh:mm:ss」の形です。
3	センサ番号と種類	CH1	測定値です。
4	測定値単位	Unit	測定値の単位です。 データは温度の場合は「C」、電圧、電流の場合は、任意に入力した単位となります。 「CAL」はバイアス設定を行っていることを示します。
5	上限アラーム値	AlmH	上限アラーム値です。
6	下限アラーム値	AlmL	下限アラーム値です。
7	上限アラーム	H	上限アラームを表す。 データはアラーム ON 時「1」、アラーム OFF 時は「0」です。
8	下限アラーム	L	下限アラームを表す。 データはアラーム ON 時「1」、アラーム OFF 時は「0」です。
9	センサ番号と種類	CH2	測定値です。
:	:	:	
15	センサ番号と種類	CH3	測定値です。
:	:	:	
21	センサ番号と種類	CH4	測定値です。
:	:	:	
27	センサ番号と種類	CH5	測定値です。
:	:	:	
33	センサ番号と種類	CH6	測定値です。
:	:	:	
39	コメント	Comment	他のアプリケーションなどでコメントとして使用できます。

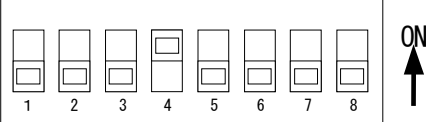
第9章 トラブルシューティング

9-1. トラブルシューティング

次のような場合には、修理をご依頼される前にもう一度ご確認ください。

下記の対処をしても正常に動作しない場合は、SP-100の故障と思われる。ただちに電源を切り、当社またはお買い求めの販売店までご連絡ください。

状態	点検項目
メモ리카ードにデータが書き込まれない	<ul style="list-style-type: none">・【RECORD】スイッチはONになっていますか。・メモ리카ード記録インターバルはOFFになっていませんか。・メモ리카ードはセコニック純正品ですか。・メモ리카ードは正しく挿入されていますか。・データファイルの数がいっぱいになっていませんか。(保存できるファイル数は512日分となります)・メモ리카ードのフォーマットはSP-100で行いましたか。
メモ리카ードのステータスが表示されない	<ul style="list-style-type: none">・メモ리카ードはセコニック純正品ですか。・メモ리카ードは正しく挿入されていますか。・パソコンで操作したメモ리카ードではありませんか。・メモ리카ードのフォーマットはSP-100で行いましたか。
データファイルが削除できない	<ul style="list-style-type: none">・メモ리카ードはセコニック純正品ですか。・メモ리카ード正しく挿入されていますか。・そのデータファイルは記録中ではありませんか。・パソコンで操作したファイルではありませんか。
メモ리카ードのフォーマットが行えない	<ul style="list-style-type: none">・メモ리카ードはセコニック純正品ですか。・メモ리카ードは正しく挿入されていますか。・メモ리카ードへ記録中ではありませんか。

状 態	点 検 項 目
<p>Microsoft® Excel で、 データファイルを 読見込むと #NAME?、 #VALUE! などの データがある。</p>	<p>+OVER、-OVER などのレンジオーバーのデータは、 数式と認識される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処置は、先頭にシングルコーテーション（'）を付加すると文字データとして、表示することができます。 ・ 詳しくは、お使いのMicrosoft® Excelの説明書をご確認ください。 ・ 尚、前面パネルのディップスイッチの4番をONにすると、 +OVER、-OVER のデータにシングルコーテーション（'）が先頭文字に付加されますので、Microsoft® Excelで文字データとして扱われる場合があります。 <div style="text-align: center;">  </div>

9-2. 警告メッセージ

測定中や操作中に警告メッセージがLCDに表示されましたら、すみやかに対処を行ってください。

対処を行っても表示される場合は、当社またはお買い求めの販売店までご連絡ください。

警告発生時の表示一覧は下表となります。

LCD表示	要因	対処
Checking	メモ리카ードのチェック中です。	チェックは数秒で終わりますので、お待ちください。
Check Remain	メモ리카ードの残量が10%以下になりました。	キー操作により表示は消えます。新しいメモ리카ードと交換するか、不要なデータを削除してください。
Full of Data	メモ리카ードのデータまたはファイル数がいっぱいになっています。	新しいメモ리카ードと交換するか、不要なデータを削除してください(保存できるファイル数は512日分となります)。
Read Only	記録を行うデータのファイル属性が「読み取り専用」になっています。	パソコン上でファイル属性が変更されていますので、「読み取り専用」を解除してください。
Broken File	記録を行うデータの項目名(ヘッダー)が異なります。	該当するデータの削除、またはメモ리카ードをフォーマットしてください。
Unformat	メモ리카ードがフォーマットされていません。	SP-100を使用しメモ리카ードをフォーマットしてください。
Unknown Card	SP-100で使用できるメモ리카ードではありません。	使用できるメモ리카ードと交換してください。
No Card	SP-100にメモ리카ードが挿入されていません。	メモ리카ードを挿入してください。
Card R/W Err	メモ리카ードまたはSP-100の故障により読書きが出来ませんでした。	当社またはお買い求めの販売店までご連絡ください。

保証書

購入製品名	SP-100 メモリカードユニット
機体番号	
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご住所	〒 TEL() ー
お名前	様
販売店名	

この度は、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書は、保証規定にもとづき無料修理をおこなうことをお約束するものです。
万一保証期間内に故障が発生した場合には、本書をご提示の上、当社もしくはお買い上げの販売店にご依頼ください。

〒178-8686
東京都練馬区大泉学園町7-24-14
株式会社 セコニック
TEL03-3978-2333 (営業)
FAX03-3922-2144

保証規定

- 保証期間内において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入店または当社が無料修理させていただきます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
- 保証期間内においても次の場合には有料修理となります。
 - 本保証書の提示がない場合。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お客様での輸送移動中の落下など、お取扱が適当でないために生じた故障および損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、その他の天変地異、公害や水害、異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷。
 - 本保証書に製品名、機体番号の記載がなく、ご住所、お名前、購入先、購入年月日の記載がない場合。
- この保証規定は日本国内においてのみ有効です。
 - ※ 修理依頼品および修理完了品の送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
 - ※ この保証規定は提示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてはお買い上げの販売店、または当社サービス窓口へお問い合わせください。

[ご注意] この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社 セコニック

〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14

TEL 03-3978-2333 (営業) FAX 03-3922-2144

ホームページ <http://www.sekonic.co.jp>

E-mail recorder@sekonic.co.jp

2008年2月第2版発行

G02097501